



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム
コード番号 9445 URL <http://www.forvaltel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷井 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山本 忠幸

TEL 03-3233-1301

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,214	9.0	150	10.6	154	20.3	110	22.6
27年3月期第1四半期	2,949	△3.4	136	14.8	128	13.5	89	△23.9

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 110百万円 (22.9%) 27年3月期第1四半期 90百万円 (△23.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	6.60	—
27年3月期第1四半期	5.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
28年3月期第1四半期	5,747		1,825		31.6		108.65	
27年3月期	5,592		1,848		32.9		110.05	

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 1,813百万円 27年3月期 1,837百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	7.00	—	8.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	13,600	9.8	630	8.3	650	14.5	430	40.9	25.76	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	16,693,200 株	27年3月期	16,693,200 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	— 株	27年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	16,693,200 株	27年3月期1Q	16,693,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による成長戦略や量的・質的金融緩和の継続を背景に企業収益の向上・雇用情勢の改善など緩やかな回復基調が見られるものの、中国経済の減速やギリシャ債務問題などの不安要素があり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、引き続きスマートフォン・タブレット端末の普及に伴う、増加したデータ量への対応等が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、おとくライン、FMC (Fixed Mobile Convergence) サービス等「IP&Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である(株)FISソリューションズにおいては、光ファイバー対応IP電話「FTフォン(スマートひかり)」、法人を対象とした「おとくライン」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「ツーウェイスマート」を中心に、インターネットサービス、情報通信機器販売等を提供しております。

当社連結子会社である(株)トライ・エックスを中心とするセグメントでは、当社サービスの利用顧客からのニーズが強い「ドキュメント・ソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である(株)保険ステーションにおいては、当社サービスを利用している顧客へ「コンサルティング」を提供しております。

これらにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が32億14百万円(前年同四半期比9.0%増)、営業利益が1億50百万円(前年同四半期比10.6%増)、経常利益が1億54百万円(前年同四半期比20.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億10百万円(前年同四半期比22.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション事業》

「IP & Mobileソリューション事業」におきましては、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。新サービスに伴う売上高の増加と先行してのコストの増加により、当第1四半期連結累計期間の売上高は21億43百万円(前年同四半期比4.8%増)、セグメント利益は1百万円(前年同四半期比94.0%減)となりました。

《ドキュメント・ソリューション事業》

「ドキュメント・ソリューション事業」は、普通印刷、印刷物のプランニング・デザイン等を行っております。前期より引き続き堅調に推移しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は4億92百万円(前年同四半期比21.3%増)、セグメント利益は96百万円(前年同四半期比139.2%増)となりました。

《コンサルティング事業》

「コンサルティング事業」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っております。前期より引き続き堅調に推移しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は5億77百万円(前年同四半期比16.7%増)、セグメント利益は57百万円(前年同四半期比23.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は57億47百万円となり、前連結会計年度末比1億55百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の減少(51百万円)、受取手形及び売掛金の減少(1億37百万円)、商品及び製品の増加(1億55百万円)及び前払費用の増加(1億13百万円)によるものであります。

負債の残高は39億21百万円となり、前連結会計年度末比1億78百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少(34百万円)、借入金の増加(3億40百万円)、未払金の減少(81百万円)及び未払法人税等の減少(51百万円)によるものであります。

非支配株主持分の残高は11百万円となりました。また、純資産の残高は18億25百万円となり、前連結会計年度末比22百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	858,203	806,586
受取手形及び売掛金	1,926,489	1,789,207
商品及び製品	34,956	190,321
仕掛品	64,020	53,022
原材料及び貯蔵品	28,536	30,256
前払費用	654,131	767,198
その他	699,414	682,146
貸倒引当金	△13,746	△13,056
流動資産合計	4,252,006	4,305,682
固定資産		
有形固定資産	142,880	144,172
無形固定資産		
のれん	51,669	46,639
その他	126,962	133,111
無形固定資産合計	178,631	179,750
投資その他の資産		
長期前払費用	803,627	905,407
その他	259,477	259,821
貸倒引当金	△44,529	△47,157
投資その他の資産合計	1,018,574	1,118,071
固定資産合計	1,340,086	1,441,994
資産合計	5,592,092	5,747,677
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,296,221	1,261,703
短期借入金	566,350	907,102
未払金	1,059,325	977,965
未払法人税等	73,542	22,384
賞与引当金	80,245	42,750
役員賞与引当金	51,750	13,234
その他	383,434	464,231
流動負債合計	3,510,869	3,689,372
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
退職給付に係る負債	113,832	118,583
その他	18,893	13,983
固定負債合計	232,726	232,567
負債合計	3,743,595	3,921,940

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,252,441	1,229,080
株主資本合計	1,837,149	1,813,788
非支配株主持分	11,347	11,948
純資産合計	1,848,497	1,825,737
負債純資産合計	5,592,092	5,747,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,949,817	3,214,048
売上原価	2,230,958	2,235,259
売上総利益	718,859	978,789
販売費及び一般管理費	582,741	828,300
営業利益	136,117	150,488
営業外収益		
受取利息	91	34
違約金収入	5,627	4,094
助成金収入	—	1,458
その他	1,799	2,810
営業外収益合計	7,518	8,396
営業外費用		
支払利息	3,081	3,314
持分法による投資損失	12,029	734
その他	73	326
営業外費用合計	15,184	4,375
経常利益	128,452	154,510
特別損失		
固定資産除却損	8	975
減損損失	3,583	—
特別損失合計	3,591	975
税金等調整前四半期純利益	124,860	153,534
法人税、住民税及び事業税	17,627	21,308
法人税等調整額	17,064	21,440
法人税等合計	34,691	42,749
四半期純利益	90,168	110,785
非支配株主に帰属する四半期純利益	301	600
親会社株主に帰属する四半期純利益	89,867	110,185

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	90,168	110,785
四半期包括利益	90,168	110,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,867	110,185
非支配株主に係る四半期包括利益	301	600

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,044,841	406,460	494,615	2,945,917	3,900	2,949,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,459	2,283	1,495	9,238	—	9,238
計	2,050,301	408,743	496,111	2,955,156	3,900	2,959,056
セグメント利益	24,120	40,444	74,911	139,475	1,576	141,052

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	139,475
「その他」の区分の利益	1,576
セグメント間取引消去	96
のれんの償却額	△5,030
四半期連結損益計算書の営業利益	136,117

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP&Mobileソリューション事業」セグメントにおいて遊休資産の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において3,583千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	I P & M o b i l e ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,143,946	492,944	577,157	3,214,048	—	3,214,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,488	4,707	1,539	14,734	—	14,734
計	2,152,435	497,651	578,696	3,228,783	—	3,228,783
セグメント利益	1,444	96,751	57,126	155,322	—	155,322

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、従来、不動産管理事業を含んでおりましたが、前連結会計年度中に不動産管理事業の対象物件を売却したため、当第1四半期連結累計期間において該当する事業はありません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	155,322
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	196
のれんの償却額	△5,030
四半期連結損益計算書の営業利益	150,488